

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2018-202020

(P2018-202020A)

(43) 公開日 平成30年12月27日(2018.12.27)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
<b>A 6 1 G</b> 7/16 (2006.01)	A 6 1 G 7/16	3 B 0 9 5
<b>A 4 7 C</b> 17/16 (2006.01)	A 4 7 C 17/16	4 C 0 4 0
<b>A 4 7 C</b> 13/00 (2006.01)	A 4 7 C 13/00	B

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2017-113108 (P2017-113108)  
 (22) 出願日 平成29年6月8日(2017.6.8)

(71) 出願人 717003644  
 浦田 全  
 大阪府富田林市木戸山町13番23号(101)  
 (72) 発明者 浦田 豊  
 大阪府富田林市木戸山町13-23-101  
 (72) 発明者 浦田 全  
 大阪府富田林市木戸山町13-23-101  
 Fターム(参考) 3B095 EA01 EB02 EB03 EB05 EB06  
 4C040 AA05 EE02

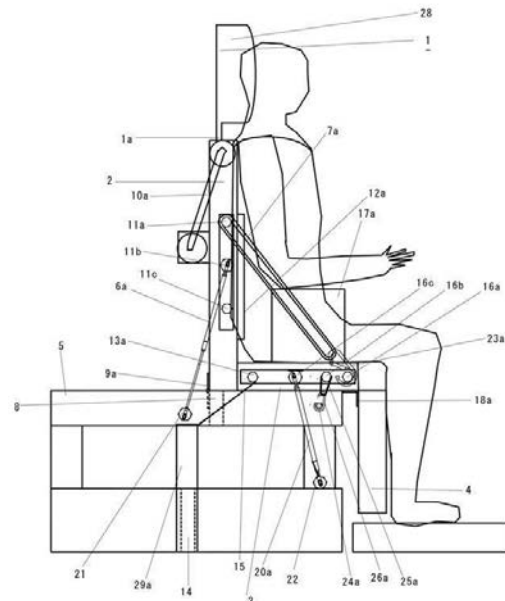
(54) 【発明の名称】 椅子ベッド

(57) 【要約】

【課題】 脊柱に起きた急性症状や、高齢者の首・腰の症状等の人用に、ベッドに寝起きする時の脊椎・骨盤を保護するため、椅子に座った状態からそのままベッドになる、また、ベッドからそのまま椅子に座った状態になる利用者の体に負担が全くない椅子ベッドを提供する。

【解決手段】 ヘッドレスト1と連結した背凭れ2, 脚シート4と接合した座席シート3を座台5に蝶番9a, 9b, 18a, 18bを使いそれぞれ接合させて、直接連結していない背凭れ2と座席シート3をVベルト7a, 7b、カラビナ23a, 23bで繋ぐ。そして、チェア型にして、症状を持つ人を乗せて、背凭れ2をゆっくりガスダンパー6a, 6bも使って椅子の形のまま倒す。そこから、カラビナ23a, 23bを外し、座席シート3をガスダンパー20a, 20bも使いゆっくり倒して、ベッドの形となり、反対に、ベッドの形から座席シート3を上げて、Vベルト7a, 7bをつなげて、緩やかに起こす。

【選択図】 図1



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

ヘッドレスト、背凭れ、座席シート、脚シート、および前記背凭れ及び前記座席シートを支持する座台を備え、上記ヘッドレストは上記背もたれの上端部に取り付けられ、上記背凭れは上記座台に起伏可能に取り付けられ、上記座席シートと上記背凭れは解除可能な連結手段で連結されているとともに上記脚シートは上記座席シートの前端部に支持されていることを特徴とする椅子型ベッド。

## 【請求項 2】

解除可能な連結手段は上記背凭れと上記座席シートを連結可能に設けられたベルトとカラビナで構成されていることを特徴とする請求項 1 記載の椅子型ベッド。

10

## 【請求項 3】

ヘッドレスト、背凭れ、座席シート、脚シート、および前記背凭れ及び前記座席シートを支持する座台を備え、上記ヘッドレストは上記背もたれの上端部に取り付けられ、上記背凭れは上記座台に起伏可能に取り付けられ、上記座席シートと上記背凭れは解除可能な連結手段で連結されているとともに、上記座台には上記座席シートを上記背凭れの方向に付勢する付勢手段と上記座席シートを上記座台の上面と平行な位置に固定可能な解除可能な固定手段が取り付けられ、上記脚シートは上記座席シートの前端部に支持されていることを特徴とする椅子型ベッド。

20

## 【請求項 4】

上記付勢手段はガスダンパーで構成され、上記解除可能な固定手段はベルトとカラビナで構成されていることを特徴とする請求項 3 記載の椅子型ベッド。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本発明は椅子の状態からベッドの状態に、またベッドの状態から椅子の状態に、使用者が座ったまま変化させることができる椅子型ベッドに関するものである。

## 【背景技術】

30

## 【0002】

従来この種の椅子ベッドは、座面角度はそのままで起伏可能な背もたれが漸次座面とフラットになるように構成されている。

## 【先行技術文献】

## 【特許文献】

## 【0003】

【特許文献 1】特表平09-508041

## 【0004】

また、この種のベッドと似た今までの特徴は、介護ベッド、マッサージベッドともにベッドの横から座り、ベッドの向きに体勢を変えて足を伸ばして座ってから、電動又は、手動で、背もたれを倒して行って、寝ている状態にもっていくとする構成のものもある。

40

## 【発明の概要】

## 【発明が解決しようとする課題】

## 【0005】

従来椅子型ベッドは、脊柱に問題がある場合(慢性・急性の脊椎の症状等)、座面部が動かない状態で背もたれを倒していくと、上半身部(特に背部)に引っ張りの重力がかかり痛みがでて、利用者の症状によっては首・腰を含めた体を痛めることが多かった。

## 【0006】

また、介護ベッド、マッサージベッドも共通するが、背ボトムと膝ボトムが動いてチェアポジションを保つベッドがあるが、これは、寝たきりの人等がベッドからずれないよ

50

うにという目的であるため、座面(腰ボトム)自体は動かず、また、脊椎の急性症状では、起きる時に重力が背・腰に痛みがあり、利用者の症状増悪の危険があった。

本発明はこのような課題を解決し、腰や背中に全く負担をかけることなく使用者が座ったまま椅子の状態からベッドの状態に、またベッドの状態から椅子の状態に変化させることができる椅子型ベッドを提供しようとするものである。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上述した課題を解決するために、本発明の椅子ベッドは、ヘッドレスト、背凭れ、座席シート、脚シート、および前記背凭れ及び前記座席シートを支持する座台を備え、上記ヘッドレストは上記背もたれの上端部に取り付けられ、上記背凭れは上記座台に起伏可能に取り付けられ、上記座席シートと上記背凭れは解除可能な連結手段で連結されているとともに上記脚シートは上記座席シートの前端部で支持されるようにしたものである。

10

【発明の効果】

【0008】

本発明は、背凭れと座席シートを解除可能な連結手段で連結しているため、背凭れを倒した時に座席シートが上がるため、背中とお尻の角度が変わらず、背凭れが倒れた後に座席シートを倒せるので、首・背中に痛みがある人の脊柱から骨盤を保護し、利用者に負担をかけることなく椅子の状態からベッドの状態に、またベッドの状態から椅子の状態に変化させることができる

20

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】本発明の椅子型ベッドの全体図である。

【図2】図1の背面図である。

【図3】本発明椅子型ベッドの背凭れ角度90度、座席シート角度90度の使用状態図である。

【図4】本発明椅子型ベッドの背凭れ角度90度、座席シート角度0度の使用状態図である。

【図5】本発明椅子型ベッドの座台だけを表した構成図である。

【図6】本発明椅子型ベッドの斜め上からの図である。

【発明を実施するための形態】

30

【0010】

本発明における、椅子型ベッドの実施形態を図に基づいて説明する。

【0011】

図1と図2において、1はヘッドレスト、2は背凭れ、3は座席シート、4は脚シート、5は座台である。以下、それらについての結合関係を説明していく。

【0012】

1はヘッドレストで、芯のまわりをクッション28が覆うように形成され、ヘッドレスト1は、背凭れ2の上端部に固定できるように2本の棒1a,1bが取り付けられている。

【0013】

2は背凭れで、背凭れ2には、ベッドを倒しやすいように、取手10a,10bをつけている。また、背凭れ2は、ベッドに横になる形になった時の腕を支えるために左右に腕置台12a,12bを設置している。さらに、背凭れ2には、左右を貫通する3本のボルト11a,11b,11cが取り付けられている。

40

【0014】

3は座席シートで、左右を貫通する3本のボルト16a,16b,16cが取付けられている。また、座席シート3には、座席シート3の端部にはめ込むことができ簡単に立ち座りしやすいように着脱式の腕置き17a,17bが設けられている。

【0015】

4は脚シートで、脚シート4は座台5とは連結せずに、座席シート3と蝶番18a,18bで連結

50

させている。図1のように、座席シート3の前端部と座台5の前端部との間に若干の空間が設けられているので脚シート4の下端部は図1の位置から後方に変位するようになっているので、脚シート4が座席シート3に吊られている状態となっている。

【0016】

5は座台で、図5に示すように箱型の土台となっている。座台5の真ん中の上下に背凭れ2と連結する座台上中間版8、座席シート3と連結する座台下中間版14があり、また、座台下中間版14にはボルト27がとりつけられている。座台5の外側には、ボルト24a,24bと、座台5を貫通するように真ん中の長いボルト21と下方にも座台5を貫通するように長いボルト23が設けられているとともに長いボルト21の支え台29a,29bが取り付けられている。

10

【0017】

また、座台5は、図5に示すように箱型の土台となっているが、後端部には、開口部5aが設けられている。これは背凭れ2を倒す時、取っ手10a,10bを持ちながら倒す時足をこの開口部5aに入れると力が出しやすく、また、背もたれ2が座台5に倒れた状態でも起こしやすくするためである。

【0018】

背凭れ2と座台5は、背凭れ2の下端と座台5の上中間版8を蝶番9a,9bで連結していることで背凭れ2が座台5と平行になるまで後方に倒すことができる。また、背凭れ2に取り付けられているボルト11bは、ガスダンパー6a,6bで座台5の長いボルト21につながっている。

20

【0019】

背凭れ2と座席シート3は、直接連結せずに背凭れ2の長いボルト11aにVベルト7a,7bとカラビナ23a,23bを固定し、座席シート3の長いボルト16aにカラビナ23a,23bを引っ掛けることによって連結している。

したがってこの状態では背凭れ2と座席シート3は連動して動くことになり、このカラビナ23aとカラビナ23bを外すとそれぞれが単独に動くことができる。

【0020】

座席シート3と座台5は、座台5と座席シート3を直接連結すると座席シート3動きが制限されるから、座席シート3の左端のボルト13aから座台下中間版14に取り付けられているボルト27の下をワイヤー15を通して座席シート右端のボルト13b(図示せず)にかけることによって、間接的に座席シート3と連結させている。また、座台5に通されている長いボルト22と座席シート3の左右を貫通するボルト16cの間にダンパー20a,20bを取り付けている。

30

【0021】

座台5のボルト22と座席シート3のボルト16cをつないでいるガスダンパー20a,20bは圧縮した状態で取り付けられているため図1のように座席シート3が平らな状態になっているときは、座席シート3の長いボルト16bに取り付けているミニVベルト25a,25bをカラビナ26a,26bを介して座台のボルト24a,24bに結合し、浮き上がらないように固定しておくようにしている。

【0022】

40

この椅子型ベッドが椅子の状態からベッドになるまでの動作を説明する。図1の椅子の状態、被施術者を座らせ、施術者が座席シート3に取り付けているカラビナ26a,26bを座台5のボルト24a,24bから外して、背凭れ2の取っ手10a,10bを座台5の方へ後方に引くと背凭れ2が図2の蝶番9a,9bを軸に倒れると同時に、背凭れ2の長いボルト11aに取り付けているVベルト7a,7bとカラビナ23a,23bが座席シート3の長いボルト23aに結合しているので、座席シート3が背凭れ2の方へ引っ張られて上方に上がり、図3のような椅子が倒れるような状態となる。

図3の状態からベッドの形にするにはカラビナ23a,23bを座席シート3の長いボルト16aから外して、座席シート3を座台5の所まで倒す。座席シート3も倒してベッドのように平らになった時に、着脱式の腕置き17a,17bを外す。また、脚シート4の下に座台5がな

50

いので、脚シートの下に台19を入れれば脚シート4が真っすぐに伸ばせる。そして、まだ座席シート3と座台5を繋いでいるガスダンパー20a,20bの浮き上がる力が強いので、座席シート3に取り付けているVベルト25a,25bに結合しているカラビナ26a,26bを座台のボルト24a,24bに引っ掛けることで図4のようなベッドの状態へとなる。

【0023】

この椅子型ベッドがベッドの状態から椅子にするためには図4のように背凭れ2も座席シート3もフラットな状態から、座席シート3に取り付けているVベルト25a,25bに結合しているカラビナ26a,26bを座台のボルト24a,24bから外して、着脱式の腕置き17a,17b座席シート3にはめ込み、座席シート3を上方へ上げて、カラビナ23a,23bを座席シート3の長いボルト23aにつなげると図3の状態となる。この時、被施術者のお尻を挟み込むので背凭れ2の下部と座席シート3の上の所の間にくぼみ30を設けている。(図6図示)。

10

図3の座席シート3が上がった状態から、背凭れ2の取っ手10a,10bを持ち背凭れ2を上方に上げると背凭れ2は上がり、座席シート3は被施術者の体重も加わり座台5の所まで倒れ、フラットとなり、そこから被施術者が立ち上がっても座席シート3と座台5を繋いでいるガスダンパー20a,20bにより座席シート3が浮き上がらないように、カラビナ26a,26bを座台のボルト24a,24bに引っ掛けることで、図1の椅子の状態へと戻る。

【符号の説明】

【0024】

1ヘッドレスト

2背凭れ

3座席シート

4脚シート

5座台

6a,6bガスダンパー

7a,7b Vベルト

8座台上中間版

9a,9b蝶番

10a,10b 取っ手

11a,11b,11c長いボルト

12a,12b腕置台

13a,13bボルト

14座台下中間版

15ワイヤー

16a,16b,16c長いボルト

17a,17b腕置き

18a,18b蝶番

19脚シートの台

20a,20bガスダンパー

21長いボルト

22長いボルト

23a,23bカラビナ

24a,24b座台のボルト

25a,25bミニVベルト

26a,26bカラビナ

27座台下中間版のボルト

28 クッション

29a,29b 長いボルト21の下支え台

30 くぼみ

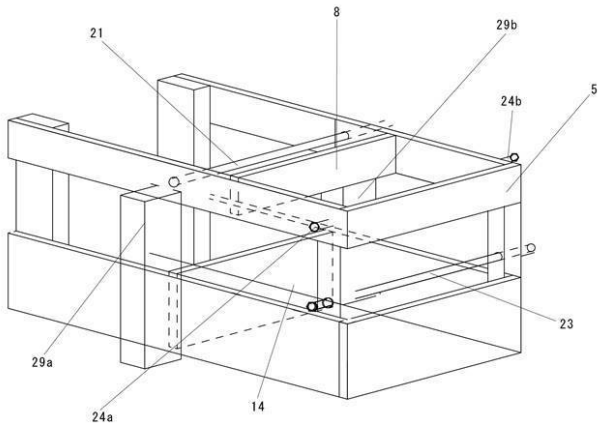
20

30

40



【 図 5 】



【 図 6 】

